

藤崎いきいきまちづくり協議会 第5回会議 委員発言等の要旨

■ 質疑応答

○ まちづくり部会 工藤委員

ぼっぼらを拠点に産直市を実施したところ。これまでは、出店者などの参加・協力者を募っても、外から集まって来ない状況だった。もう少し地域の人たちと協力をしながら進めていけば良いと考える。

藤崎には「紅の夢」（果肉まで赤いりんご）という魅力的な新しい地域資源がある。農商工連携などの補助金等を積極的に使って、地域振興の起爆剤にしたいものだ。

○ 農政課長

町内の「紅の夢」生産者に集ってもらい、製品の品質を上げるための会議を立ち上げたところ。品種としては、まだまだメジャーでなく世に知られていないが、地域資源としてのPRは徐々に首都圏などでも行っている。まずは、良いものをつくって、広く売り出していけるようにしたい。

○ まちづくり部会 新谷委員

JR藤崎駅が無人であり、地域が寂しくなっている。まちづくり部会の提案では、駅を中心としたまちづくりの中に藤崎駅も意味合いとして含むものと思っていたが、町の説明においては「ぼっぼら」を中心とした内容が大半となっている。藤崎駅については、対象と捉えているものか。

○ 町長

平成25年度の予算に、藤崎駅の整備に関する経費を計上しているところ。藤崎駅が整備された後に、提案いただいた事業内容を含め、周辺地域の活性化のために何が必要かを検討して実施することとしている。

○ 生活環境部会 北山委員

公園管理については、新しいイベントを考えてもらってありがたい対応だ。清掃活動は人数が多ければそれだけ効率が良くなるのだから、是非たくさんのボランティアが参加するような工夫をして欲しい。

雪捨て場の確保は、個人所有の空き地や農地などの活用も必要である。地域の中での働きかけなどは、町内会を活用してもらうのも良い。

○ 教育文化部会 木村委員

唐糸公園が整備された頃に、ボランティアとして草とりを行っていた。数年経つと、手で草とりをするだけでは、とても追いつかなくなった。鶴田町の例では、公園に子どもたちが花を植え、それぞれに自分の名前を付けることによって、継続的に人が立ち寄るように工夫をし、管理の効率化を図っている。そういったやり方も参考にしてみようか。

■ 意見交換

○ 産業部会 天内委員

町のホームページで情報を出しているが、町民のうちどのくらいの人がそれを見ているものか。パブリックコメントなどについても、インターネットなど全ての人が触れられないような方法で町人の意見を諮るのではなく、もっと地道な方法で丁寧に意見を集めるようにすべき。

○ 教育文化部会 木村委員

フェイスブックミーティングは、若い人が参加しやすい方法ということで提案をした。一方的な情報発信ではなく、参加する人たちがお互いのコミュニケーションをとれるような施策として進めてもらいたい。タウンミーティングは、肩書きなどなくして、町側の人も参加住民も同じ立場でざっくばらんに町について語り合える場であるような工夫をして欲しい。

○ 生活環境部会 加川委員

会議の運営について、行政側で設定した進行スケジュールや作業ノルマのしぼりがきつすぎる。もっと時間にしばられることなく、好きなだけ議論をできるようにすべき。また、まちづくりの会議では、構成員のバランス配分等も大事だ。高校生などの若い人や、女性ももっと多く参加するように配慮が必要だ。

○ 教育文化部会 小山内委員

フェイスブックは個人の発言に責任がともなう。ただ町に対して文句を言うだけではなく、住民同士が真剣にまちづくりについて話し合える場としてフェイスブックを使ってもらいたい。

○ まちづくり部会 赤石委員

駅づくりの提案の核となる部分は、町内会を始めとした多様な主体が意見を出し合って進めるということ。実行委員会形式の事務局という提案をしたが、多くの主体が参画するように、町が音頭をとって募ってもらいたい。

○ 福祉部会 相坂委員

フェイスブックミーティングをやるのであれば、無責任な書き込みができないように、参加者を住民に限定して、さらに住所などもある程度登録するくらいの管理が必要でないか。コンピュータ上の事業実施となれば、常に3人くらいは管理者が張り付かねばならないだろう。十分な準備をして実施するようにしてもらいたい。

除雪に関しては、この冬の豪雪もあって全くひどい状況であった。今後、改善しなければならない点が非常に多い。

○ 生活環境部会 北山委員

豪雪の影響で公園にたくさんの雪が積まれている。子どもたちが早く外で遊べるように、排雪に注力をしてもらいたい。今後とも地域の除雪については、町内会としてできる限り協力をしていく。

○ 教育文化部会 阿部委員

フェイスブックであれば、本名の登録が原則になっているので、一般の掲示板やブログのように炎上するという事はまずない。

公園のクリーンアップについては、9月の実施では遅い。雪が消えた後に出てくるゴミの片付けが一番必要になる。5月にでもやった方が良い。

スクールバスの運行は、大型の車両でなければならないものか。冬期間は車両が大きいことで、すれ違いができずに入って行けない道が出てくる。マイクロバスを使った運行も考えてもらいたい。

○ まちづくり部会 工藤委員

ウォーキング大会の開催を毎月1回、2年間で計24回実施したことがある。やればできるものだから、年に1回といわず、できるだけ多く開催するようにしてはどうか。